

洛星中学突破カリキュラム

使用教材

傾向と対策

ポイント

基本戦略／入試データ

◎ 年間スケジュール

	2～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事				
トライ対策スケジュール	応用力養成期		発展力養成期	実践力養成期
	算：予習シリーズ5年上下一行問題集。国：予習シリーズ5年上下、出る順漢字、出る順言葉。社：予習シリーズ上下、サブノート。理：予習シリーズ5年上下、サブノート	算：近畿の中学入試問題集 標準 出る順計算。国：予習シリーズ5年下、予習シリーズ6年上、出る順漢字、出る順言葉。社：予習シリーズ6年上下 サブノート。理：予習シリーズ5年下 6年上 サブノート	算：近畿の中学入試問題集 発展、出る順図形。国：予習シリーズ6年上、近畿の中学入試問題集、発展 出る順漢字。社：近畿の中学入試問題集（標準）（発展）、理：近畿の中学入試問題集（標準）（発展）	算：赤本やり直し。国：赤本、今までのやり直し。近畿の中学入試問題集 発展。社：赤本、模試、今までの教材のやり直し。理：赤本、今までの教材のやり直し。
ポイント	①国語は読みとりのスピードをつけること！記述力もつけること！ ②算数国語を重視する。配点が理科、社会の1.2倍になっている。 ③算数は問題数は多くないが、時間を要する問題が多い為、時間配分や解答時間を考えるトレーニングをすること。			
		三者面談 志望校相談	三者面談 志望校相談②	三者面談 公立判定診

◎Data Mining

算数	<p>〈目標点数〉6割/120点 試験時間60分〈出題分析〉 計算問題：4問（分数・小数・四則混合・未知数）／一文問題：4問（規則性・整数の性質）／応用文章題：14問（旅人算・立体図形・図形の移動・規則性・長さ・濃度・相当算・差集め算・角度）〈対策〉計算問題が少なく、長文形式が多い。旅人算はこの3年間毎年出題されている。図形問題では、面積や体積を求めるときに規則性を考えて解く問題がよく出題されている。</p>
国語	<p>〈目標点数〉6割/120点 試験時間60分〈出題分析〉 物語文：3問、漢字：10問〈対策〉長文が長い。解答形式は記述式が多く、相当な記述力が要求される。配点高いので、記述式では部分点がもらえるように対策をしておく必要がある。書き取りはこの3年間は10問毎年出題されている。文章題は1題のみの出題。前期日程は毎年物語文が出題されている。</p>
社会	<p>〈目標点数〉60/100 試験時間50分〈出題分析〉歴史6問、地理・公民：各3問ずつ 〈対策〉難しい内容のものも多く、短文の正誤判断問題には注意を要する。歴史分野では、古代から現代までの政治の動きを中心に、社会や文化なども含めた総合的な知識が問われる。記述式の問題も目立つ。</p>
理科	<p>〈目標点数〉32/50 試験時間40分〈出題分析〉物理：5問／化学：5問／生物：3問／地学：3 〈対策〉問題の量が多く、内容も高度なため、時間配分に注意が必要。物理分野では、原理や法則を使った計算や思考力を問う問題がよく出題される。化学分野では水溶液に関する出題が多い。生物分野では、動物や植物の暮らしをテーマにした問題が多くみられる。地学分野では、地層、大地、天体、気象などの分野からも出題される。表やグラフ読み取る力も必要である。</p>
基本戦略、入試データ	<p>3教科（国語・算数・理科）と4教科で選択。 〈文系科目が得意な場合〉4教科受験が前提。社会7割、算数5割、国語6割、理科5割5分で合格最低ラインに到達。 〈理系科目が得意な場合〉3教科受験が前提。算数6割6分、国語5割、理科6割5分で合格最低点に到達。 ポイント：3教科の場合、合計点に44/34【前期】、36/30【後期】をかけて計算する。 入試データ：2010年度前期日程：募集人数195人、受験者数485人、合格者数263人、合格最低点251/440点。後期日程：募集人数30人、受験者数365人、合格</p>

◎ こういう生徒にお勧め！

- ・洛星中に合格したい。
- ・将来的に難関国立大学、医学部を目指したい。
- ・家でほとんど勉強しない。
- ・苦手科目がある。

◎ 対象エリア

対 京都府
 対応地域：京都府
 指 小学校4年生～6年生

◎ 対策の特徴

・国語は毎年小説が出題される。文章も長く早く正確な読み取りが要求される。算数、理科、社会も全体的に難易度も高く、正確な記述力が要求される。京都の私立中学の中で難易度の一番高い出題といえる。
 対応教師：
 プロ～セレクトB。ご本人の性格を理解し、うまく進めていける、勉強のコツを教えることができるなど経験のある教師が進路を含めご案内していきます。